

JILPT「雇われない働き方について の調査(ウェブ調査)」(速報)

概要

(1) 調査対象

・スクリーニング調査

調査会社が保有する調査モニターのうち、雇用者、自営業、自由業合計29万128人に調査協力依頼メール

・本調査

自営業から農林漁業、個人商店主を除いた5万人に本調査を配信し、1万人を回収目標数とした

(2) 調査時期

・スクリーニング調査

平成29年4月3日(月)～平成29年4月7日(金)

・本調査

平成29年4月4日(火)～平成29年4月10日(月)

(3) 調査手法

インターネットリサーチ(モニター調査)

(4) 回収状況

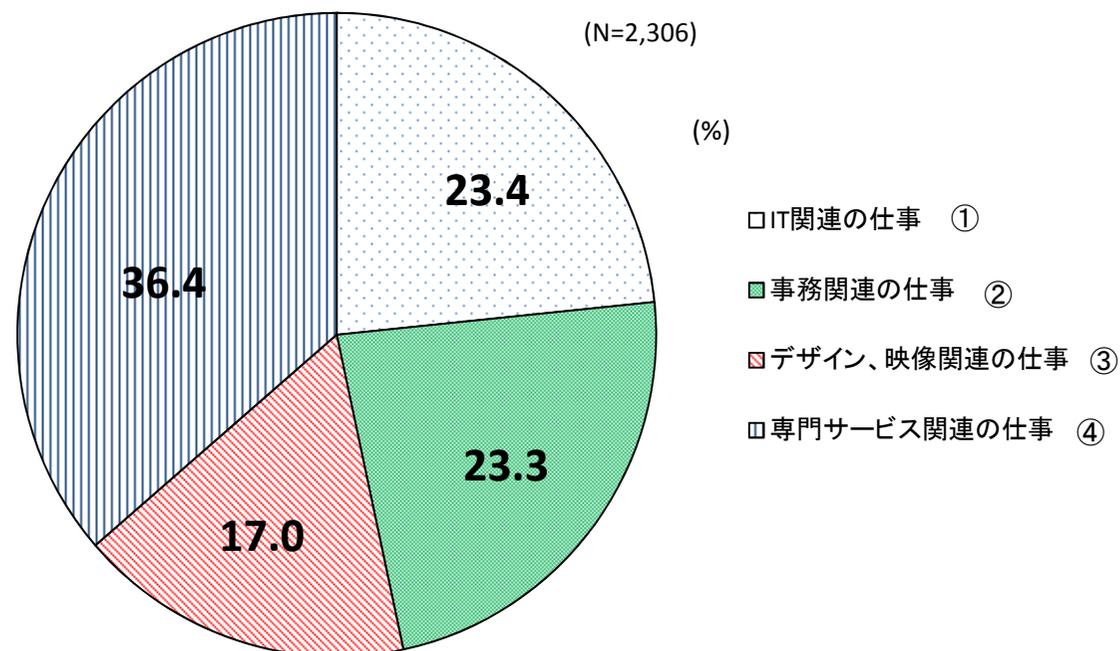
有効回収数: 10,362件(うち、この1年間に何社・何人の依頼者(個人からの依頼も含む)から仕事を受けたかという設問に対し「0社」を除いた回答: 8,408件)

※ここでは、普段働く場所について、「自宅」又は「共同のワーキングスペース」と回答した者のうち、ワーカーがこの1年間で最も多く行った仕事の内容について、「その他」と回答した者と仕事の内容の内訳のうち全ての「その他」、事務関連の仕事の内訳の中の「宛名書き」、デザイン、映像関連の仕事の内訳の中の「デザイナー・カメラマン」、専門サービス関連の仕事の内訳の中の「通訳」と回答した者を除いた2,306件について集計。

ワーカーがこの1年間で最も多く行った仕事の内容について

○ワーカーがこの1年間で最も多く行った仕事の内容は、「専門サービス関連の仕事」との回答が4割弱で最も多く、次いで「IT関連の仕事」、「事務関連の仕事」の順に回答が多い。

ワーカーがこの1年間で最も多く行った仕事の内容

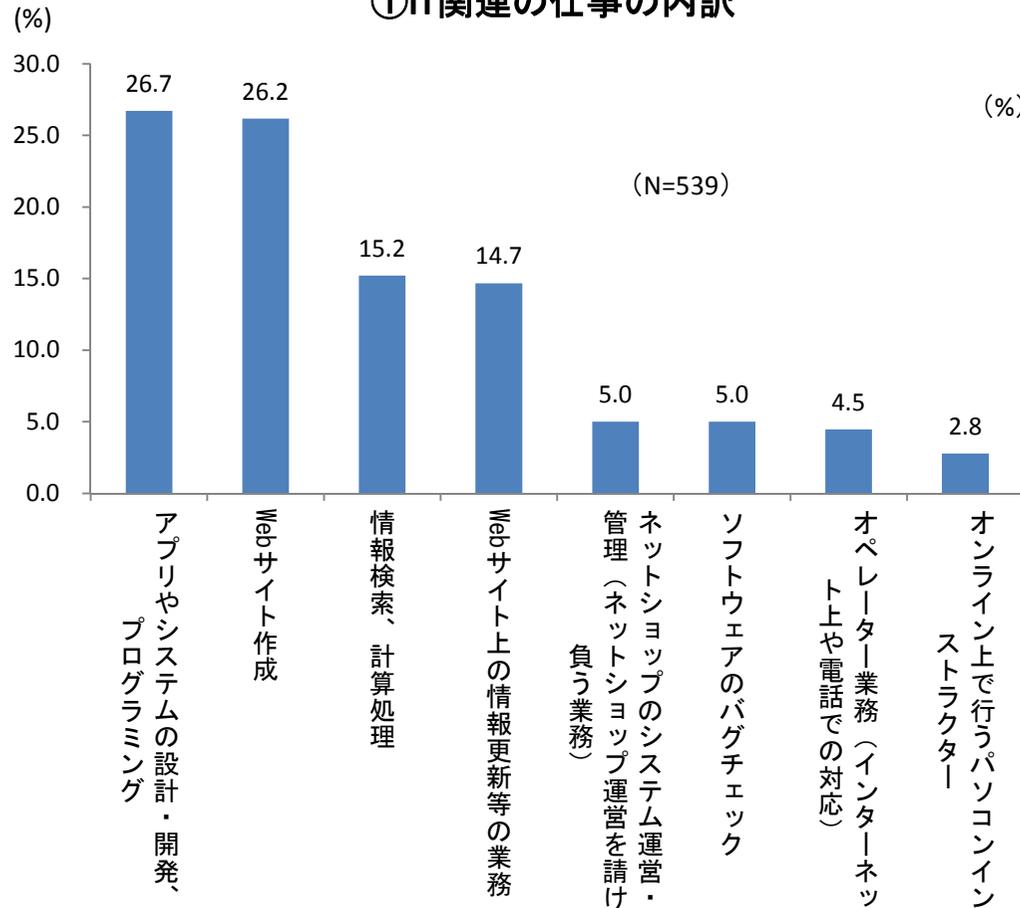


(出所)JILPT「雇われない働き方についての調査(ウェブ調査)」(速報)をもとに雇用環境・均等局作成

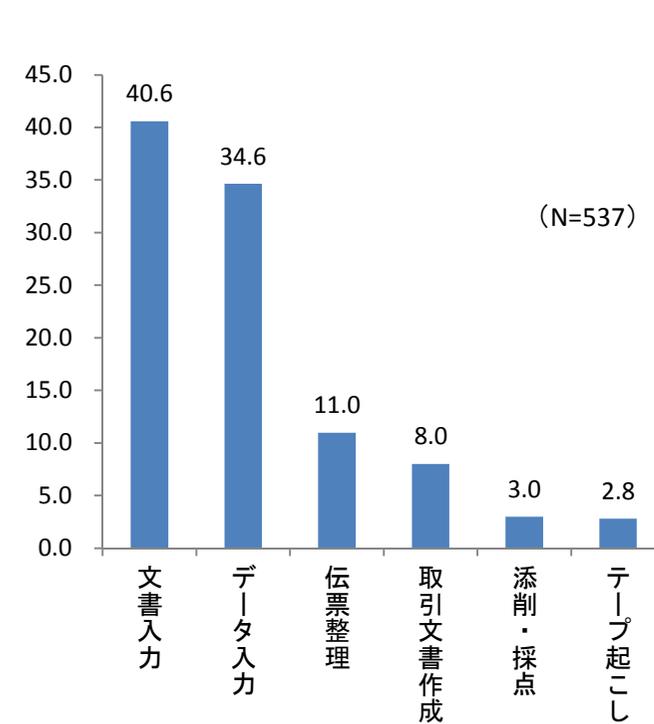
ワーカーがこの1年間で最も多く行った仕事の内訳について①

- 「IT関連の仕事」の内訳については、「アプリやシステムの設計・開発、プログラミング」、「Webサイト作成」との回答が約3割で多く、次いで「情報検索、計算処理」、「Webサイト上の情報更新等の業務」の順に回答が多い。
- 「事務関連の仕事」の内訳については、「文書入力」との回答が約4割で最も多く、「データ入力」が約3割と続く。

①IT関連の仕事の内訳



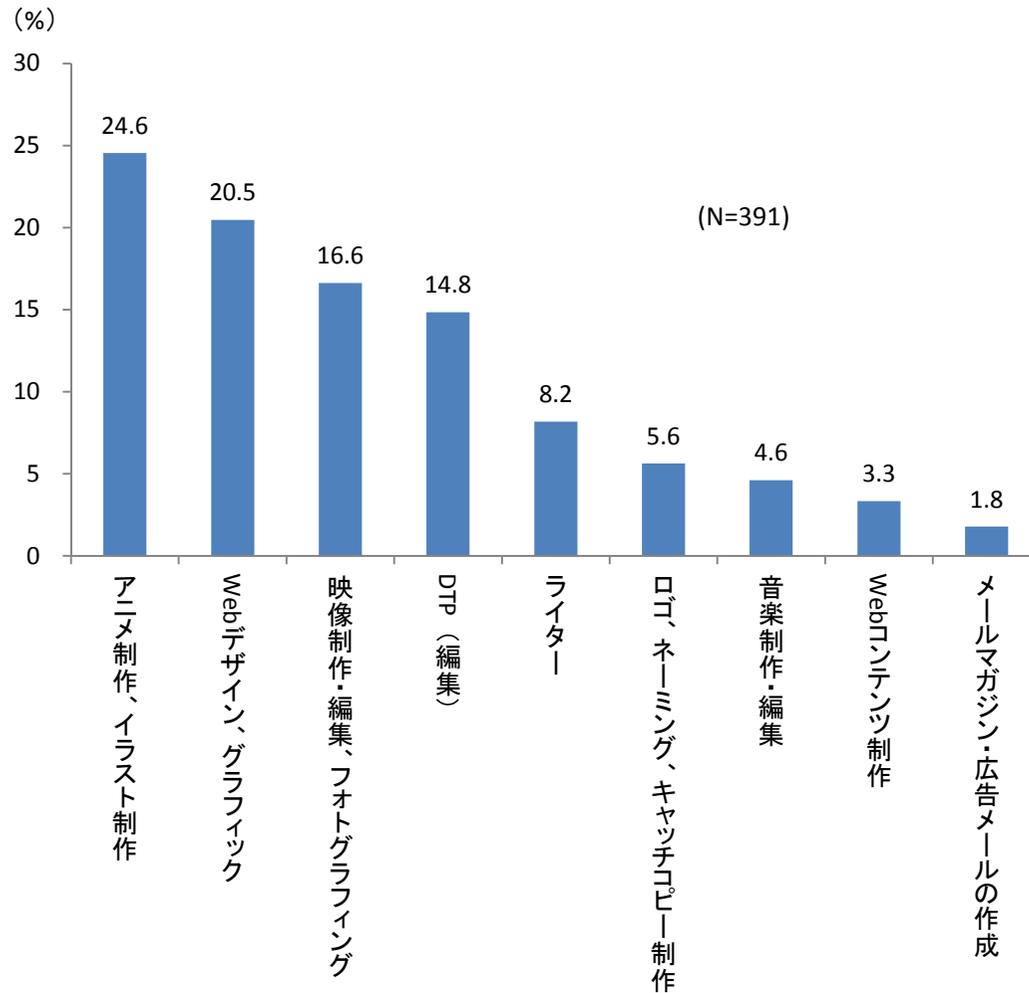
②事務関連の仕事の内訳



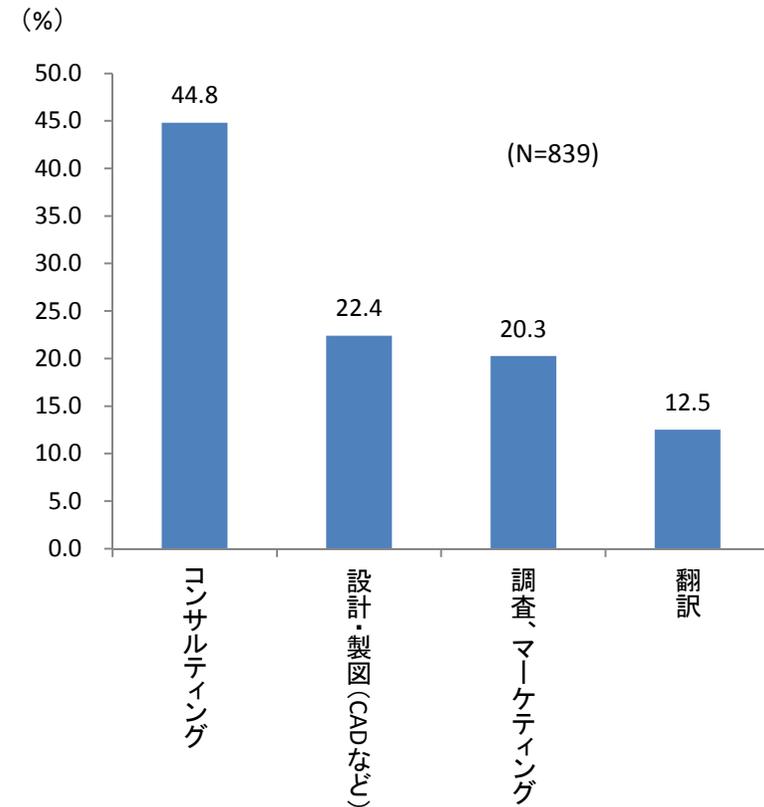
ワーカーがこの1年間で最も多く行った仕事の内訳について②

- 「デザイン、映像関連の仕事」の内訳については、「アニメ制作、イラスト制作」との回答が約2割で最も多く、次いで「Webデザイン、グラフィック」、「映像作成・編集、フォトグラフィング」との回答が多い。
- 「専門サービス関連の仕事」の内訳については、「コンサルティング」との回答が約4割と最も多い。

③デザイン、映像関連の仕事の内訳



④専門サービス関連の仕事の内訳



月収について

- 本業が雇用で副業が自営の場合、本業による収入と副業による収入を合わせた月収のワーカーの中央値は約30万円であり、副業である自営による月収のワーカーの中央値は約2万8千円。
- 本業が自営で副業が雇用の場合、本業による収入と副業による収入を合わせた月収のワーカーの中央値は約35万円であり、本業である自営による月収のワーカーの中央値は20万円。
- 本業・副業ともに自営の場合、本業による収入と副業による収入を合わせた月収のワーカーの中央値は26万円

本業が雇用×副業が自営

合計

(N=390 注)

中央値: 305,500円

自営部分

中央値: 27,500円

本業が自営×副業が雇用

合計

(N=90 注)

中央値: 345,730円

自営部分

中央値: 200,000円

本業が自営×副業が自営

合計

(N=338 注)

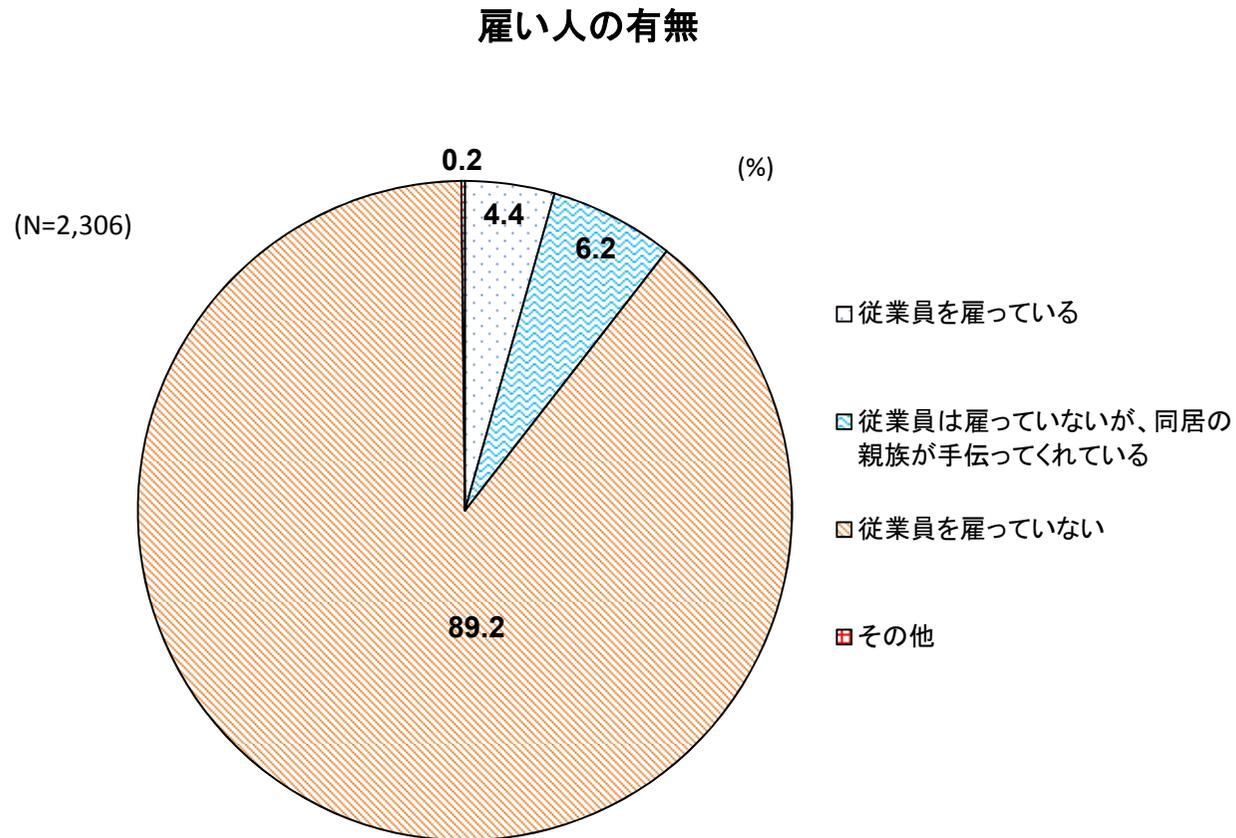
中央値: 260,000円

(出所)JILPT「雇われない働き方についての調査(ウェブ調査)」(速報)をもとに雇用環境・均等局作成

(注)収入なしを含み、無回答を除き集計

雇い人の有無について

○仕事を行うために「従業員を雇っていない」との回答が約9割であった。



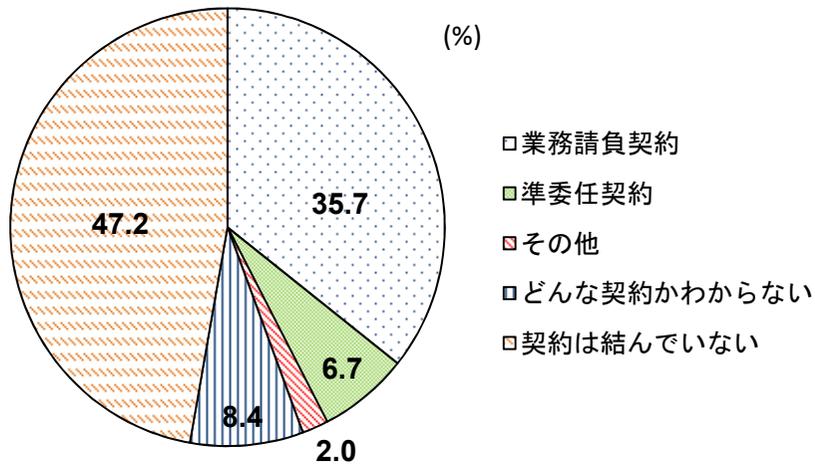
契約の種類と相手方について

- 仕事を引き受ける際の契約について、「契約は結んでいない」との回答が約半数。契約を締結している者については、「業務請負契約」との回答が4割弱と多いが、「準委任契約」との回答も1割弱であった。
- 仕事を引き受ける際に契約を結んでいる相手方については、多くが「依頼者」との回答であったが、「仲介会社」(※)、「クラウドソーシング会社」との回答も合わせて3割弱であった。

※「仲介会社」・・・企業などから受注した仕事をクラウド以外の方法で他の人に再発注する業務請負会社や、在宅ワークエージェント会社等

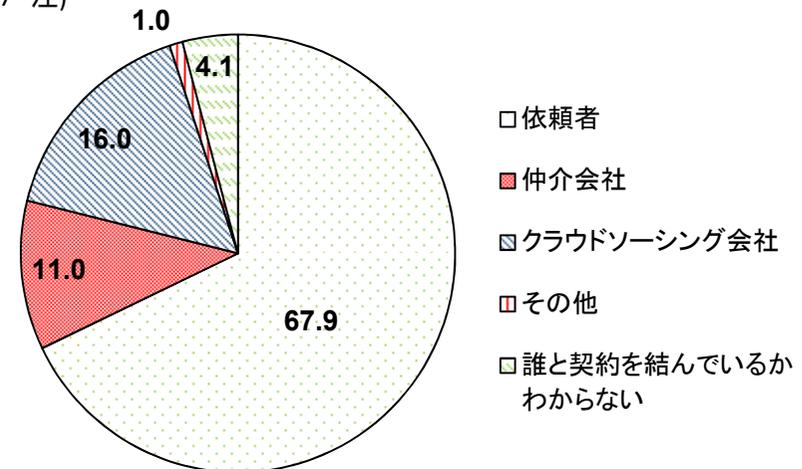
契約の種類

(N=2,306)



契約の相手方

(N=1,217 注)



(出所)JILPT「雇われない働き方についての調査(ウェブ調査)」(速報)をもとに雇用環境・均等局作成

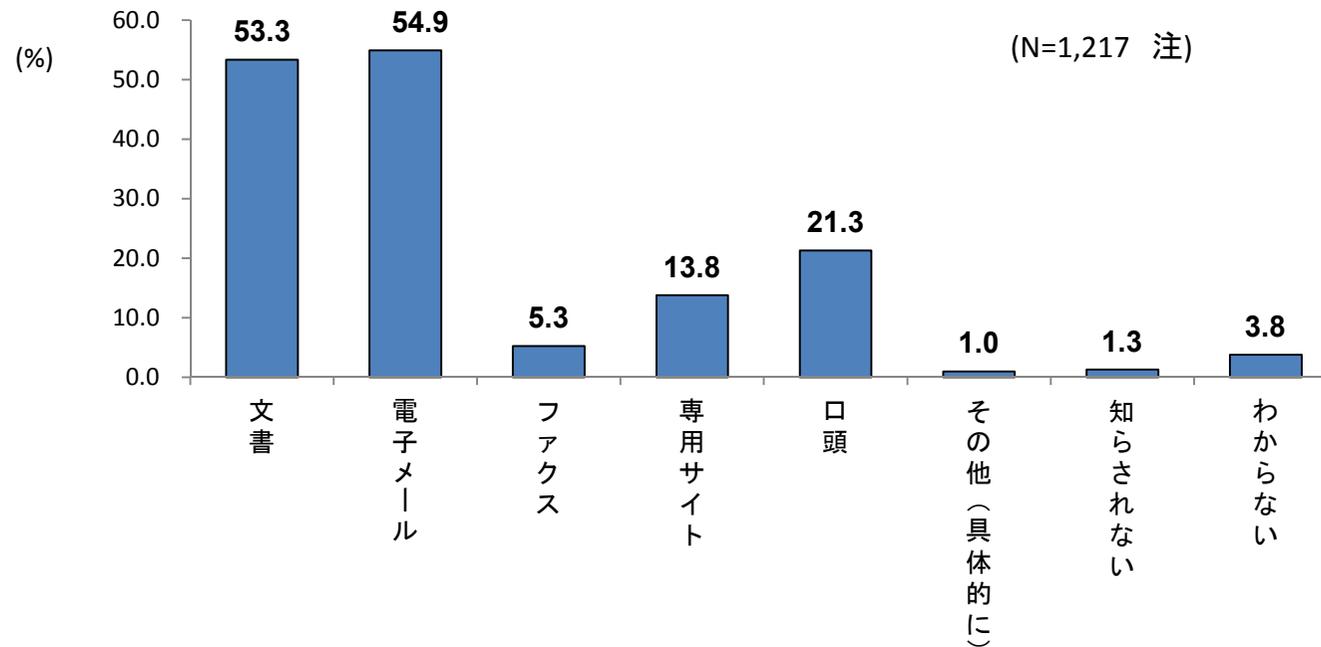
(注)「契約は結んでいない」との回答を除く

契約内容等の明示方法について

○契約の内容の明示の方法については、「電子メール」、「文書」との回答が約5割と多くなっている一方、「口頭」との回答も約2割あった。

※複数回答可

契約の内容の明示の方法



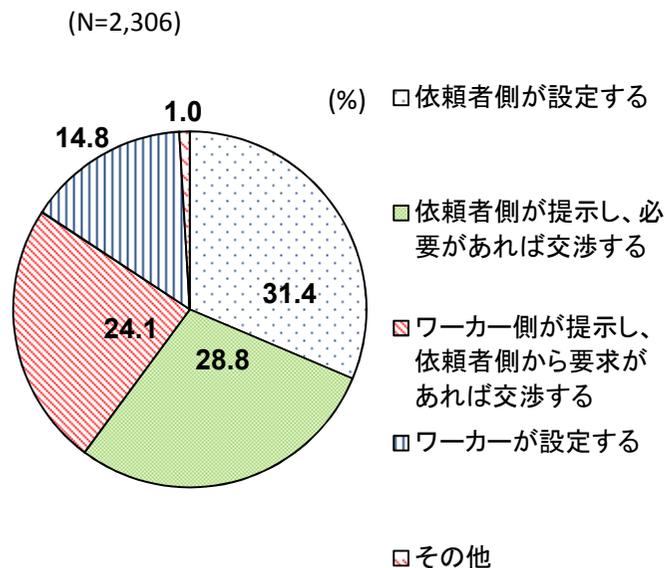
(出所)JILPT「雇われない働き方についての調査(ウェブ調査)」(速報)をもとに雇用環境・均等局作成

(注)「契約は結んでいない」との回答を除く

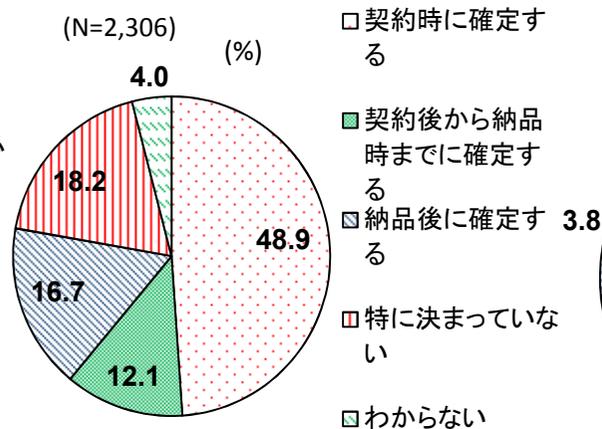
報酬について

- 報酬の決め方については、報酬の設定や提示(必要があれば交渉)を、依頼者側が行うとの回答が約6割で、ワーカー側が行うとの回答を上回っている。
- 報酬の確定時期については、「契約時に確定する」との回答が約半数である一方、「特に決まってない」との回答も約2割ある。
- 報酬の支払時期については、ばらつきはあるものの、納品後2か月以内までとの回答が合わせて約8割である。また、「毎月15日などの決まった日」との回答も2割弱ある。

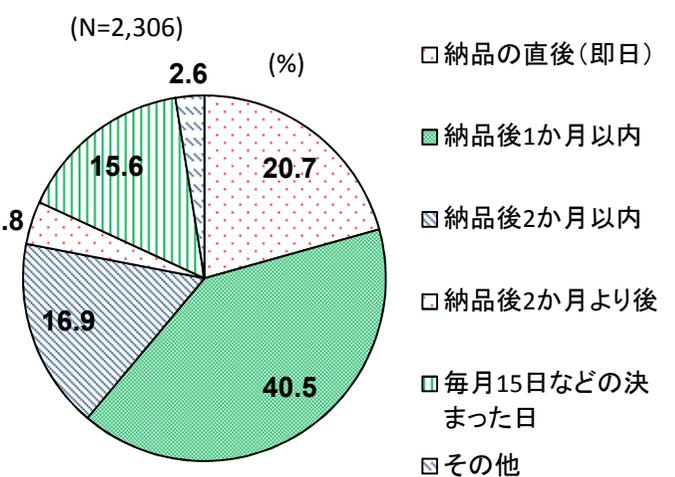
報酬の決め方



報酬の確定時期



報酬の支払時期

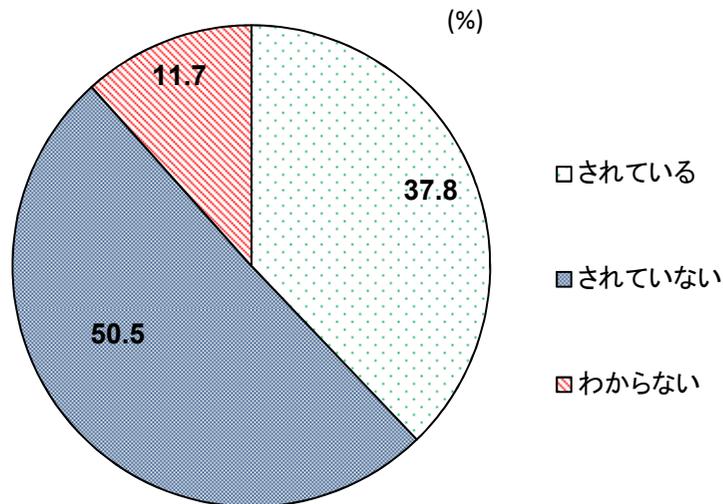


経費の取扱いについて

- 必要経費(原材料費、電気代、通信費、送料、交通費等)を誰が負担するかの事前の取決めについて、「されている」との回答が約4割である一方、「されていない」との回答が約5割である。
- 必要経費の負担者について、「自分が全て負担」との回答が5割弱で最も多い一方で、「一部の経費を依頼者側が負担」との回答が3割弱、「依頼者側がすべて負担」との回答が2割弱あった。

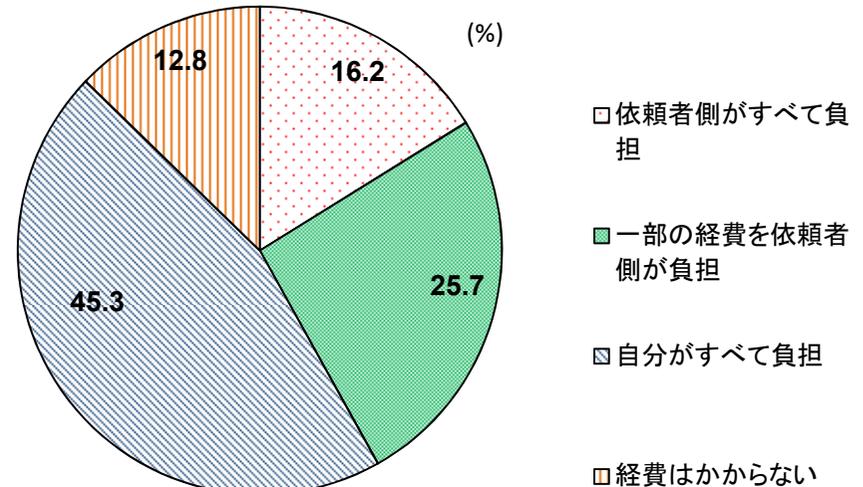
必要経費の負担についての取決め

(N=2,306)



必要経費の負担者

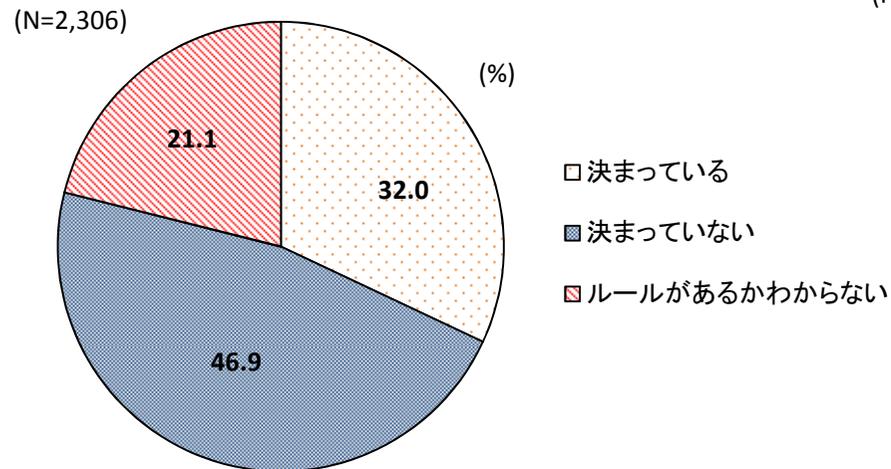
(N=2,306)



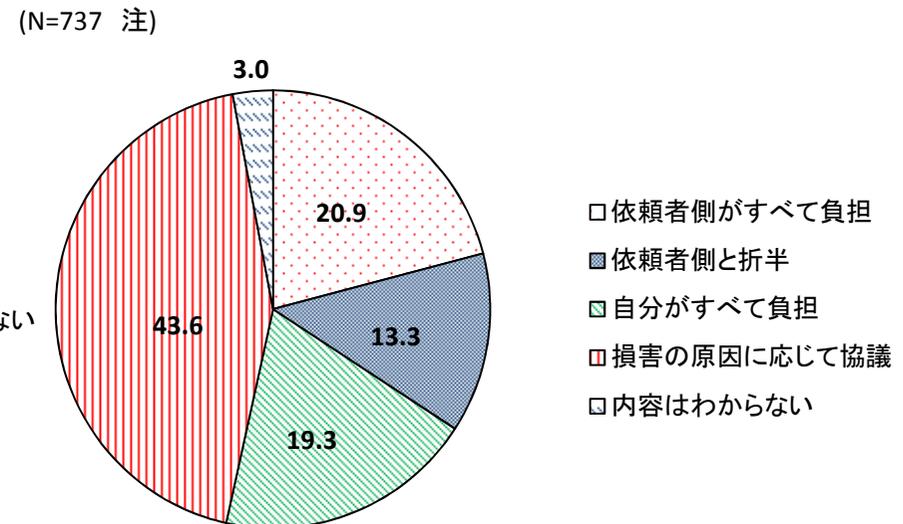
損害が発生した場合の取扱いについて

- 仕事で損害が発生した場合に誰が負担するかのルールについて、「決まっている」との回答が約3割、「決まっていない」との回答が5割弱、「ルールがあるかわからない」という回答が約2割あった。
- 仕事で損害が発生した場合、ルール上、「損害の原因に応じて協議」との回答が4割強で最も多く、次いで「依頼者側がすべて負担」との回答が約2割であった一方、「自分がすべて負担」との回答が約2割あった。

仕事で損害が発生した場合の負担についての
ルールの有無



ルール上の損害の負担者



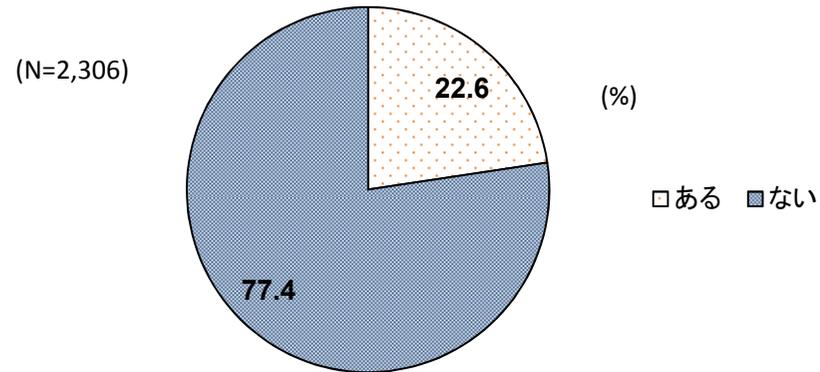
(出所)JILPT「雇われない働き方についての調査(ウェブ調査)」(速報)をもとに雇用環境・均等局作成

(注)仕事で損害が発生した場合の負担についてのルールについて「決まっている」と回答した者

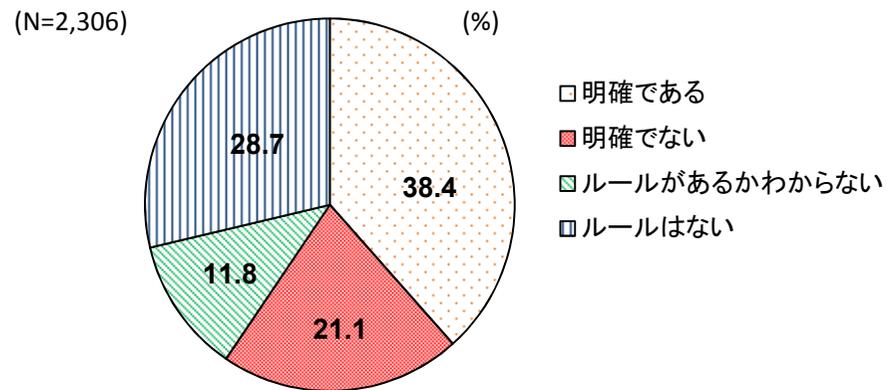
成果物の納入について

- 請け負った仕事が納期に間に合わなかったことが「ある」との回答が約2割あった。
- 成果物が不完全であった場合や納期が遅れた場合の依頼者との間の取扱いのルールについて、共に「明確である」が約4割であった一方、「ルールはない」が約3割、「明確でない」が約2割であった。

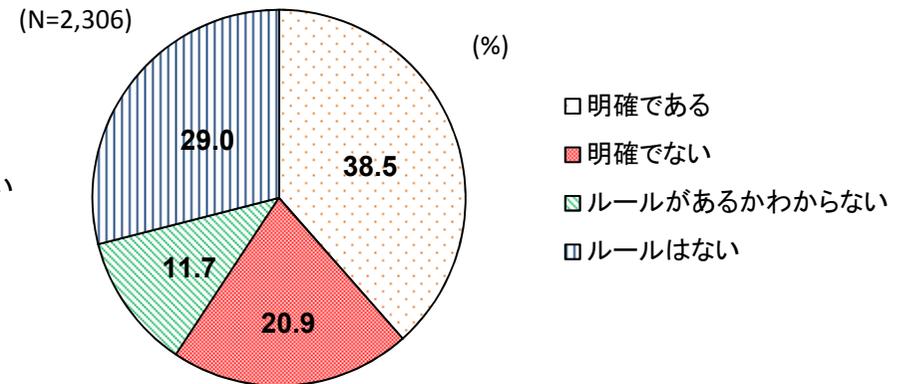
納期に間に合わなかった経験の有無



成果物が不完全な場合の取扱いのルール



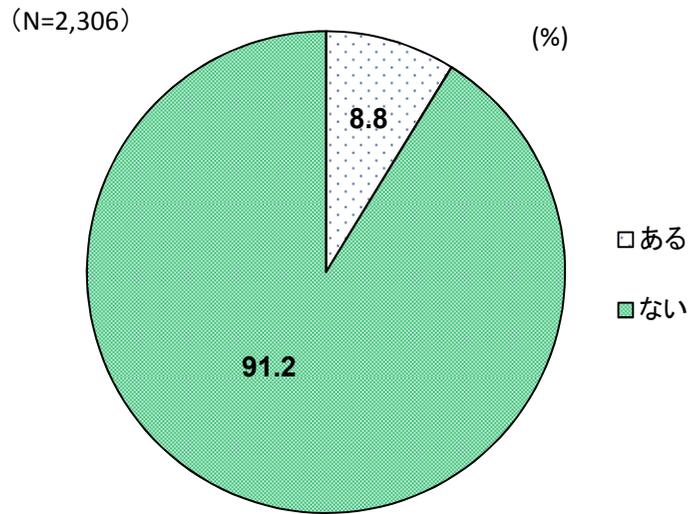
納期が遅れた場合の取扱いのルール



トラブルについて①

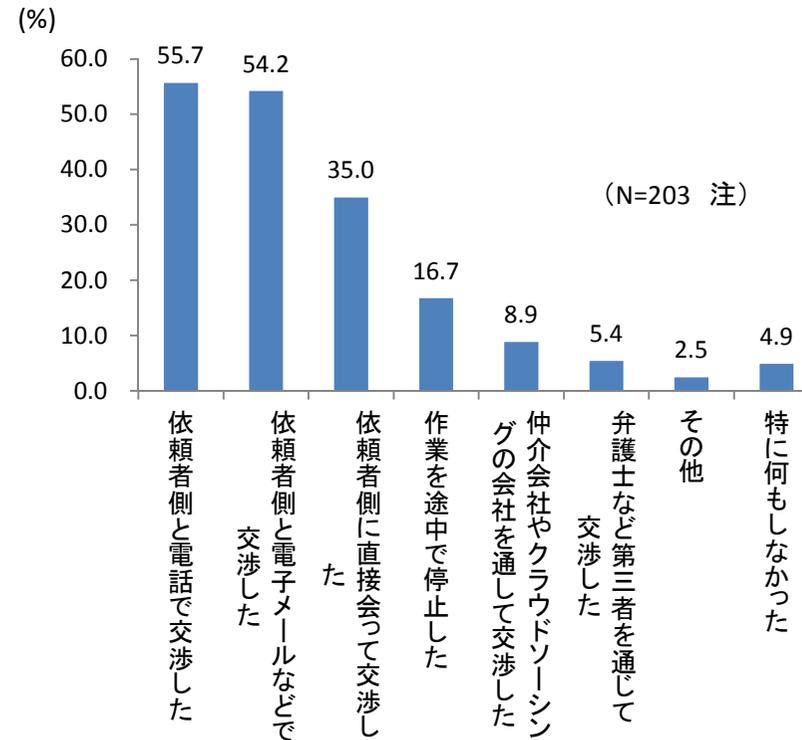
- 依頼者との間に問題・トラブルを抱えたことは「ない」との回答が約9割であった。
- 依頼者との間に問題・トラブルを抱えた際の対処方法として、「依頼者側と電話で交渉した」、「依頼者側と電子メールなどで交渉した」が半数以上で多く、次いで、「依頼者側に直接会って交渉した」との回答が多い。

問題・トラブルの経験の有無



依頼者との間に問題・トラブルを抱えた際の対処方法

(※複数回答可)



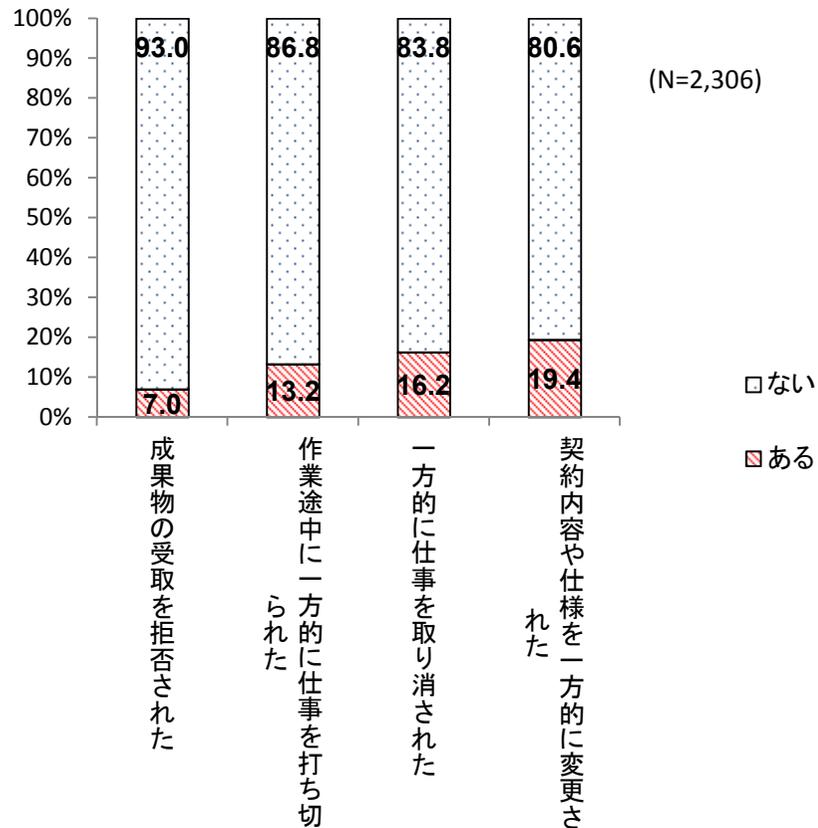
(出所)JILPT「雇われない働き方についての調査(ウェブ調査)」(速報)をもとに雇用環境・均等局作成

(注)依頼者との間に問題・トラブルを抱えたことが「ある」と回答した者

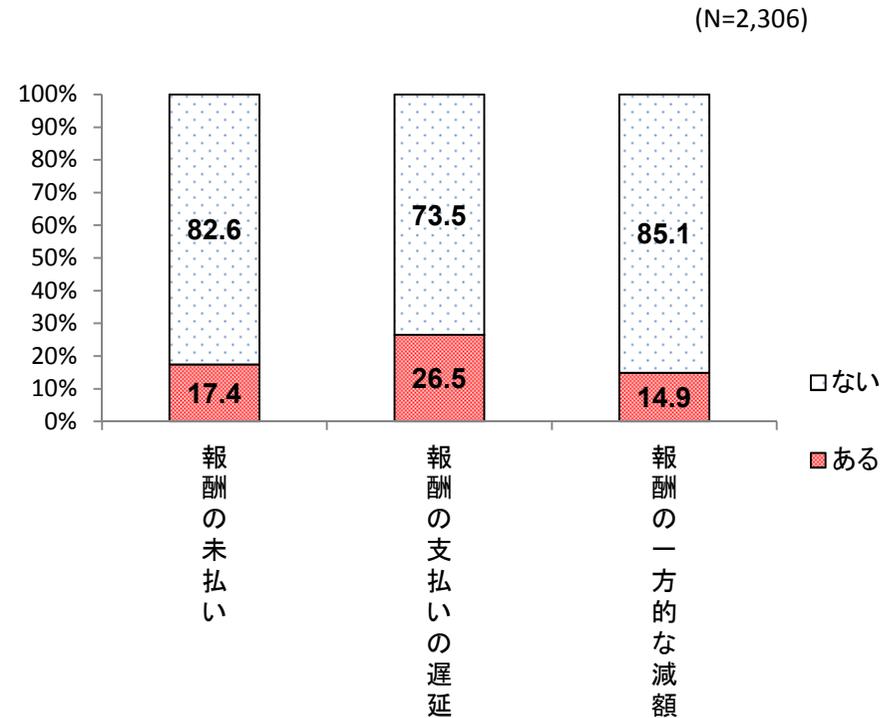
トラブルについて②

- 依頼者からの各種行為については、いずれも「ない」との回答が多いが、「契約内容や仕様を一方的に変更された」ことが「ある」との回答が約2割、「一方的に仕事を打ち消された」ことが「ある」との回答が2割弱あった。
- 報酬をめぐるトラブルについて、いずれも「ない」との回答が多いが、「報酬の支払いの遅延」について3割弱、「報酬の未払い」について2割弱、「報酬の一方的な減額」について1割強が経験が「ある」との回答であった。

依頼者からの成果物の受取拒否等についての経験の有無



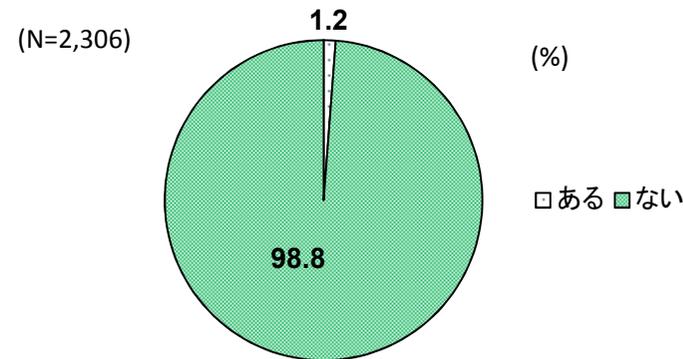
報酬をめぐるトラブルの経験の有無



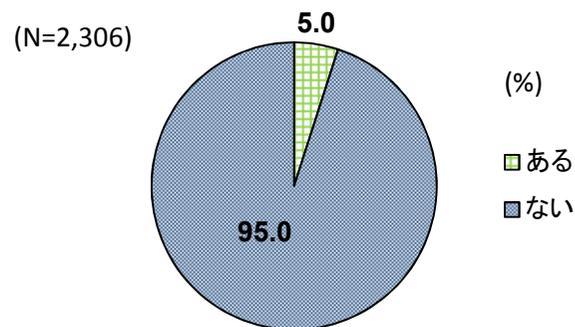
トラブルについて③

○雇われない仕事が原因で依頼者から渡された情報の取扱いについてのトラブルの経験や、仕事に必要な教材や商品等を売りつけられたこと、雇われない仕事が原因で入院や通院が必要な病気にかかったことについて、「ある」との回答はいずれも若干ではあるものの存在した。

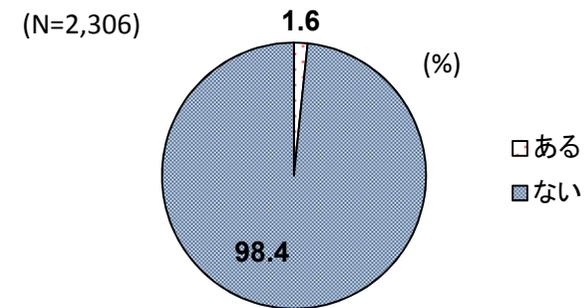
情報の取扱いについてのトラブルの経験の有無



教材や商品等の売りつけの経験の有無



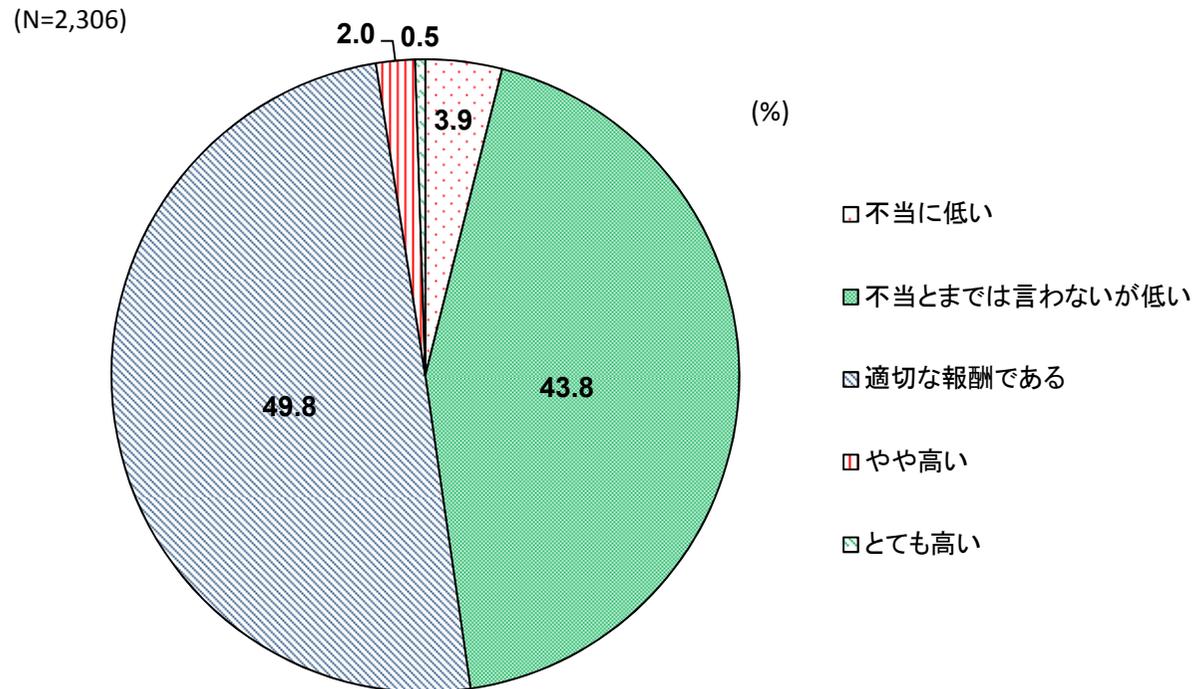
会社に雇われない仕事が原因で入院や通院が必要な病気にかかった経験の有無



報酬の所感について

○報酬についての所感は、「適正な報酬である」との回答が約半数で最も多い一方、「不当とまでは言わないが低い」との回答も約4割あった。

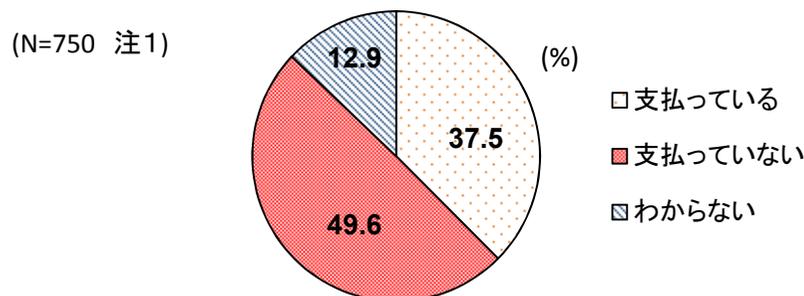
報酬についての所感



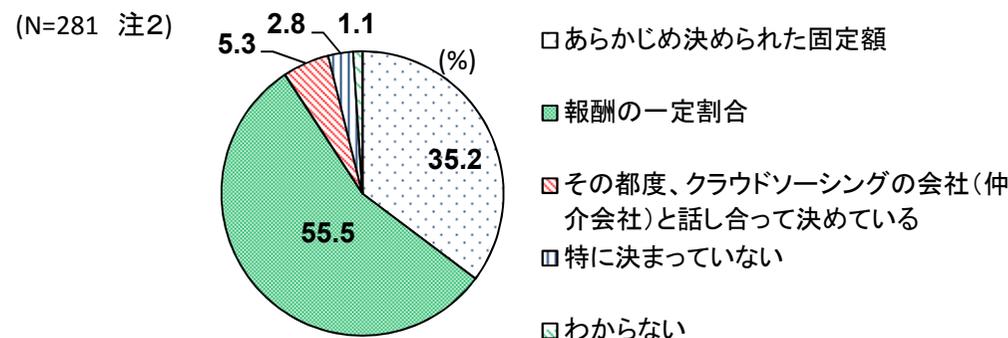
仲介事業者の手数料について①

- 利用料・手数料の支払いについて、「支払っている」との回答は4割弱であった。
- 利用料・手数料の決まり方について、「報酬の一定割合」との回答が6割弱で最も多く、次いで、「あらかじめ決められた固定額」との回答が4割弱であった。
- 利用料・手数料の決まり方に関するルールについて、「明確でない」、「ルールはない」とする回答が合わせて約4割であった。
- 利用料・手数料への所感について、「高いと思う」との回答が約6割であった。

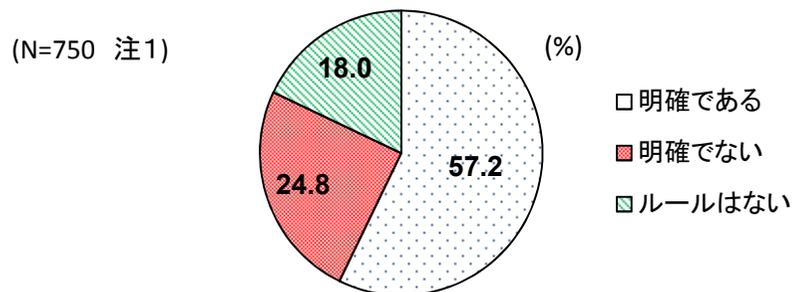
利用料・手数料の支払いの有無



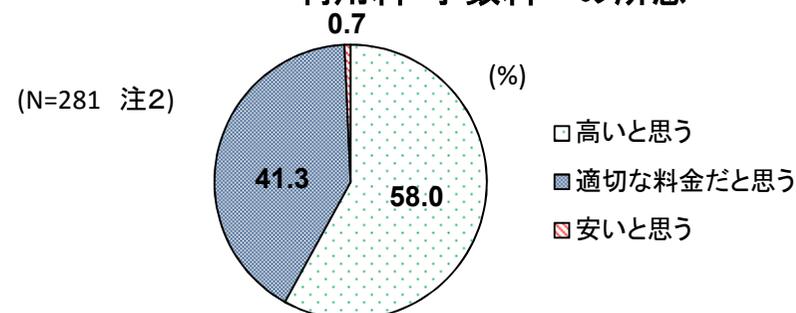
利用料・手数料の決まり方



利用料・手数料の決まり方に関するルール



利用料・手数料への所感

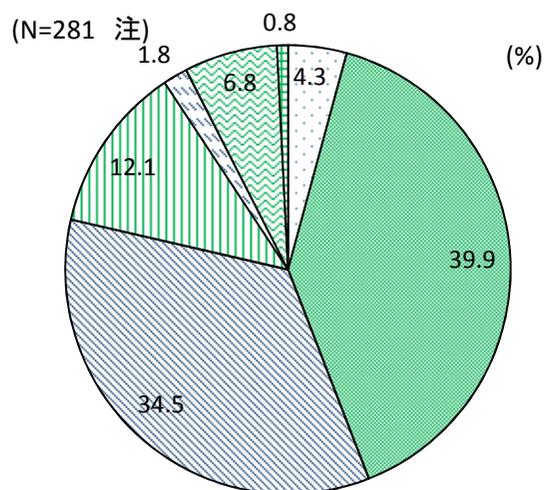


(出所) JILPT「雇われない働き方についての調査(ウェブ調査)」(速報)をもとに雇用環境・均等局作成
 (注1) 現在クラウドワーク会社を通じて仕事をしているかという設問に対し「はい」、現在仲介会社を通じて仕事をしているかとの設問に対し、「はい」又は「わからない」と回答した者
 (注2) 利用料・手数料を「支払っている」と回答した者

仲介事業者の手数料について②

- 手数料の額について、仕事の報酬の「1割程度」、「2割程度」との回答が多い。
- 利用料・手数料の支払時期について、「報酬から天引きされている」との回答が約7割と最も多く、次いで「仕事を紹介される時」との回答が約2割であった。

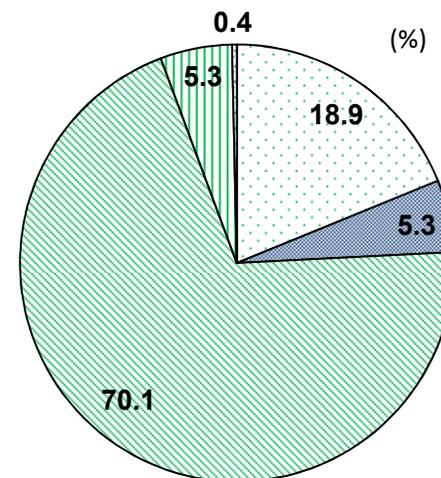
手数料の額



- 報酬の0割程度
- 報酬の1割程度
- ▨ 報酬の2割程度
- ▩ 報酬の3割程度
- 報酬の4割程度
- 報酬の5割程度
- ▬ 報酬の6割以上

利用料・手数料の支払時期

(N=281 注)



- 仕事を紹介される時
- 初回登録時(年間登録料など)
- ▨ 報酬から天引きされている
- ▩ 特に決まっていない
- その他

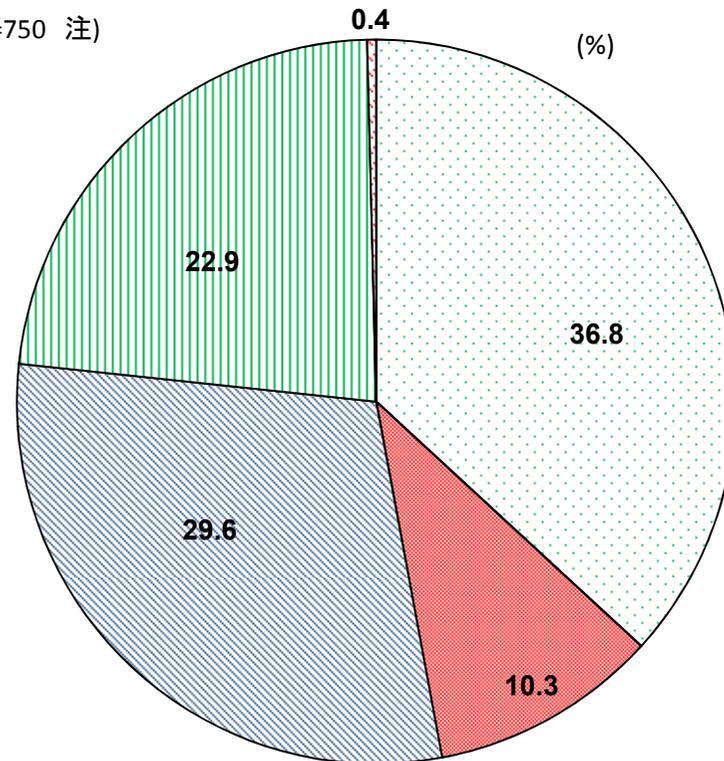
(出所) JILPT「雇われない働き方についての調査(ウェブ調査)」(速報)をもとに雇用環境・均等局作成
 (注) 利用料・手数料を「支払っている」と回答した者

仲介事業者のトラブルへの対応

○仕事においてトラブルが発生した場合のその仕事を紹介した仲介事業者の対応について、「依頼者との交渉窓口となって対応」との回答が4割弱と、「関与しない」との回答より多い一方、「特に定まっていない」、「わからない」との回答が合わせて約5割であった。

仲介事業者のトラブルへの対応

(N=750 注)



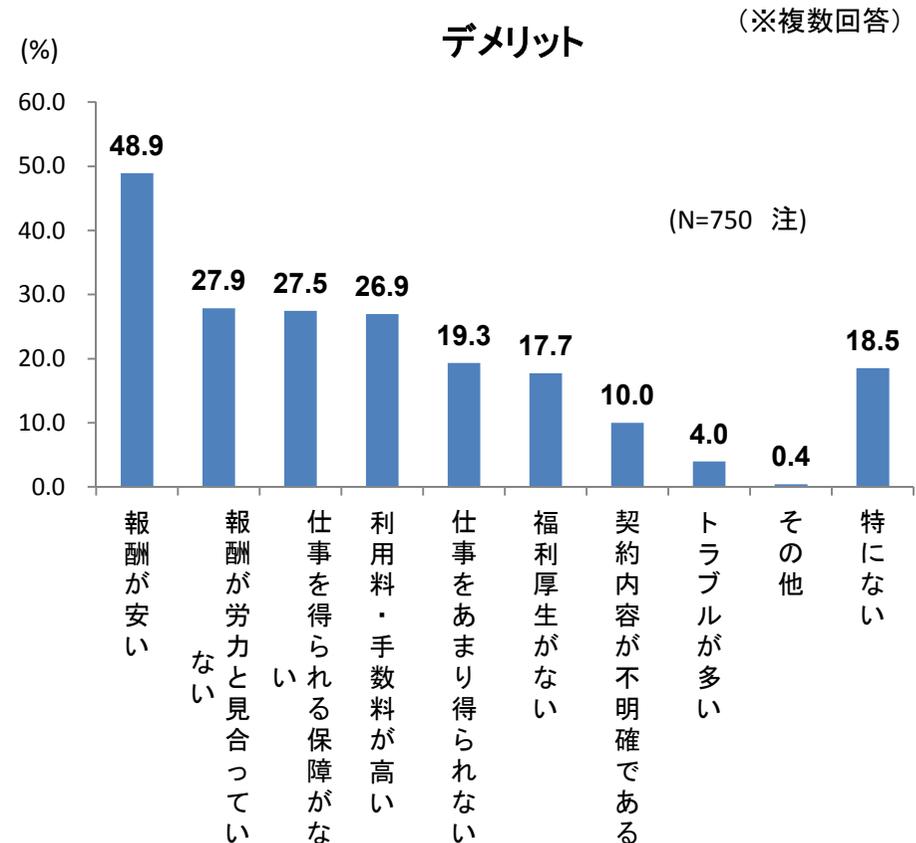
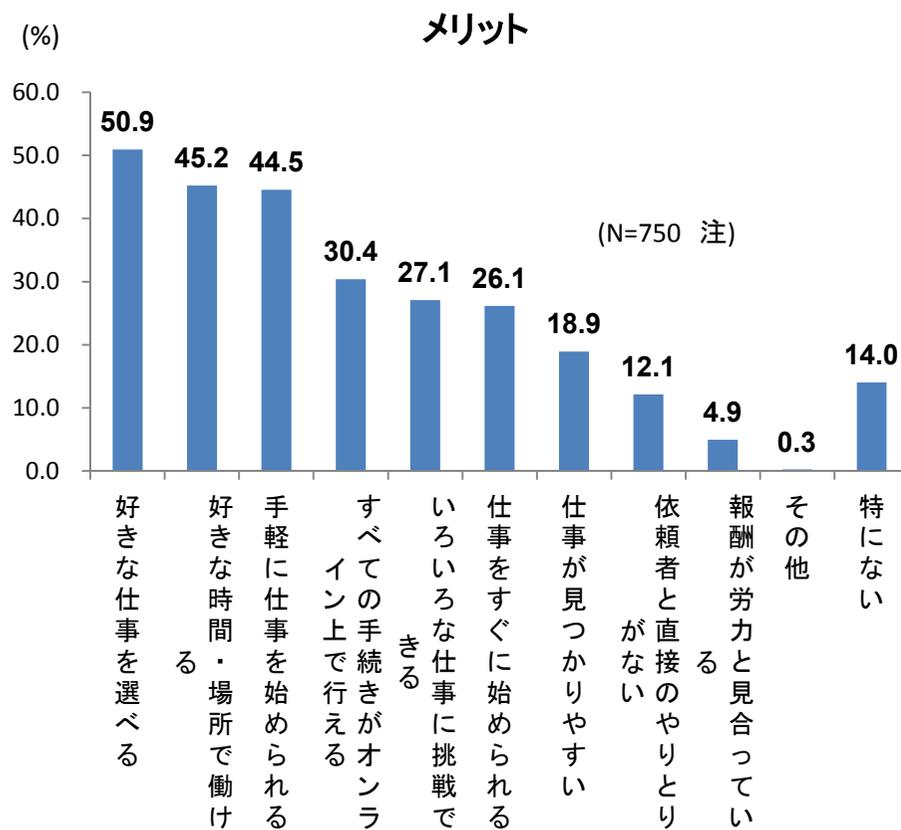
- クラウドソーシングの会社(仲介会社)が依頼者との交渉窓口となって対応
- クラウドソーシング会社(仲介会社)は関与しない
- ▨特に定まっていない
- ▤わからない
- その他

(出所)JILPT「雇われない働き方についての調査(ウェブ調査)」(速報)をもとに雇用環境・均等局作成

(注)現在クラウドワーク会社を通じて仕事をしているかという設問に対し「はい」、現在仲介会社を通じて仕事をしているかとの設問に対し、「はい」又は「わからない」と回答した者 20

仲介事業者を利用するメリットとデメリットについて

- 仲介事業者を利用するメリットについて、「好きな仕事を選べる」との回答が約半数、次いで「好きな時間・場所で働ける」、「手軽に仕事を始められる」との回答が多い。
- 仲介事業者を利用するデメリットについて、「報酬が安い」との回答が約半数、「報酬が労力と見合っていない」、「仕事を得られる保障がない」、「利用料・手数料が高い」との回答がそれぞれ約3割であった。



(出所) JILPT「雇われない働き方についての調査(ウェブ調査)」(速報)をもとに雇用環境・均等局作成

(注) 現在クラウドワーク会社を通じて仕事をしているかという設問に対し「はい」、現在仲介会社を通じて仕事をしているかとの設問に対し、「はい」又は「わからない」と回答した者

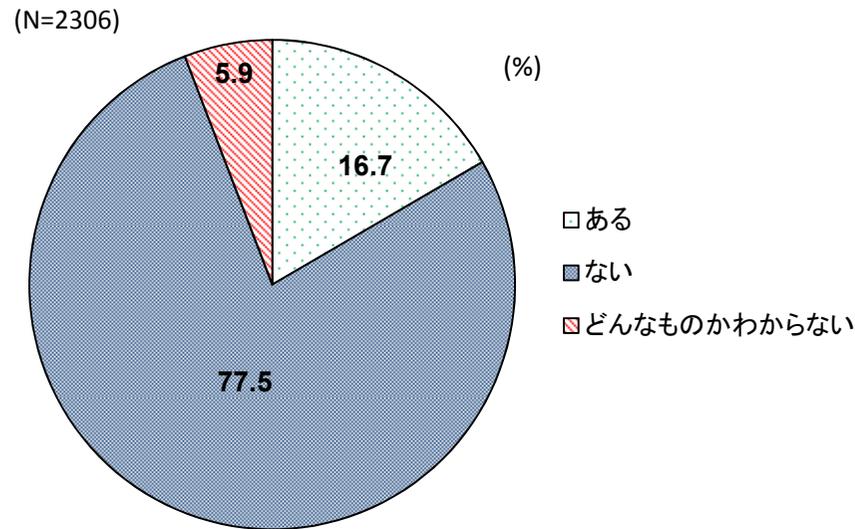
コンペによる仕事について

○コンペ(※)によって仕事を受けることが「ある」と回答した割合が2割弱であった。

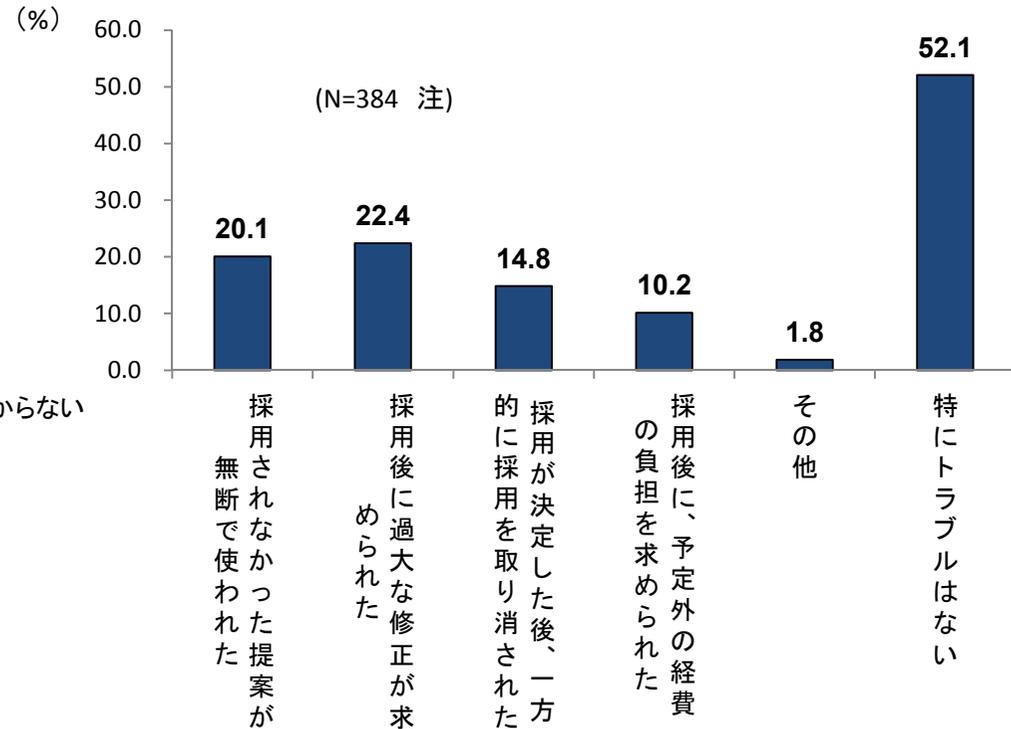
(※)コンペ・・・依頼者の募集する仕事に対して、企画案や作品(ロゴやデザイン)を提案し、採用された場合にだけ仕事を得ることができるという仕事の獲得方式

○コンペ等でのトラブルは、特にないとの回答が約半数であるが、「採用後に過大な修正が求められた」、「採用されなかった提案が無断で使われた」との回答もそれぞれ約2割ある。

コンペによる仕事の受注の有無



コンペ等でのトラブルの経験 (※複数回答)



(出所)JILPT「雇われない働き方についての調査(ウェブ調査)」(速報)をもとに雇用環境・均等局作成

(注)コンペで仕事を受けることが「ある」と回答した者